



2020年9月1日

各 位

会社名 株式会社 新潟放送
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 隆夫
 (JASDAQ・コード 9408)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 宮腰 尊史
 (TEL. 025-267-4111)

業績予想に関するお知らせ

2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました「2021年3月期の業績予想」につきまして、下記のとおり、お知らせいたします。

記

(1) 業績予想

2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想(B)	19,050	282	343	23	3.83
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月)	22,565	1,548	1,594	712	118.85

2021年3月期 通期個別業績予想 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想(B)	4,983	△247	△230	△38.39
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月)	6,359	570	406	67.73

(2) 業績予想の理由

2021年3月期 業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やその影響について見通せなかったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。第1四半期においては、放送事業で、収益の柱ともいえるスポット広告が大幅に伸び悩んだことでラジオ収入・テレビ収入ともに前年同期を下回りました。新型コロナウイルスの国内感染は、いまなお収束の見込みがたらず、広告市況に関しては、2021年3月期の後半までその影響は続くものと想定しました。そのため、放送事業の営業収益は、前年実績を下回る見込みです。一方、情報処理サービス事業については、前期のような消費税アップ前の駆け込み需要はないものの、堅調に推移していくものと想定しております。

なお、この見通しは、今後、新型コロナウイルスの感染状況により大きく変動する可能性があります。

(注) 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。